

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

電線・ケーブルの促進暴露試験方法

JCS 7391 : 2015

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

(一社) 日本電線工業会

平成27年 6月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者あるいは規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会産業用電線・ケーブル専門委員会の審議により改正したものであり、平成27(2015)年 6 月 22 日より発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 定義	1
4 試験装置	2
5 試験片	2
6 試験条件	2
7 操作	4
8 評価方法	4
9 試験報告書	5
解説	6

電線・ケーブルの促進暴露試験方法

Test methods for accelerated artificial exposure of wires and cables

1 適用範囲

この規格は、各種プラスチック・ゴム材料で絶縁又は絶縁及びシースを施した電線・ケーブル並びに使用材料（以下、製品及び材料という。）の促進暴露試験方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7753 サンシャインカーボンアーク灯式の耐光性試験機及び耐候性試験機

JIS B 7754 キセノンアークランプ式耐光性及び耐候性試験機

JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

JIS K 6266 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－耐候性の求め方

JIS K 7350-1 プラスチック－実験室光源による暴露試験方法－第1部：通則

備考 ISO 4892-1:1994, *Plastics - Methods of exposure to laboratory light sources - Part1 : General guidance* が、この規格と一致している。

JIS K 7350-2 プラスチック－実験室光源による暴露試験方法－第2部：キセノンアークランプ

備考 ISO 4892-2:2006, *Plastics - Methods of exposure to laboratory light sources - Part2 : Xenon-arc lamps* 及び *Amendment 1 (2007)* が、この規格と一致している。

JIS K 7350-4 プラスチック－実験室光源による暴露試験方法 第4部：オープンフレームカーボンアークランプ

備考 ISO 4892-4:2004, *Plastics- Methods of exposure to laboratory light sources - Part 4 : Open-flame carbon-arc lamps* 及び *Technical Corrigendum 1 (2005)* が、この規格と一致している。

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 定義

この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) **ウェザリング** 屋外において日光・雨・雪などの自然条件の影響を受けて、時間の経過に伴って起こる材料の物理的・化学的性質の変化である。
- b) **促進暴露試験装置** ウェザリングを人工的に促進するために再現性のある標準的な試験条件を作り出す装置である。
- c) **保存試験片** 試験に用いる材料の一部で、安定した条件下で保管し、暴露後の状態と暴露前の状態（初期値）とを比較するために用いるもの。
- d) **コントロール試験片** 暴露後の試験片と比較するために同時に暴露するものである。（耐候性レベルが既知である試験片）